

栃高教研普通教科「情報」部会研究会 平成14年度活動状況

第1回 平成14年8月22日(木)13:30~ 宇都宮高校 コンピュータ室

参加者数 24名

司会 小山南高校 小菅 徹 先生

第1回目ということもあり、司会者の選出と参加者の自己紹介から始まった。その後、参加者が持ち寄った各校の「平成15年度入学生の教育課程表」の説明とその中での普通教科「情報」の位置付けや実施内容、使用教科書等について情報交換を行った。

各校の主な取り組みや課題として以下のようなものがあった。

- ・在校生にアンケートを実施し、今後の指導方針の参考にした。

家庭でのPC所有率 9割

使用できるソフト ワープロ 8割、表計算 6割、携帯を含めたメール 8割

- ・県立、私立とも、2名の教員でチームティーチングを実施する予定の学校もある。

(形態としては、情報科教員+内部または外部の詳しい人。)

- ・問題点として実習を行うためのPC室が不足しがちである。

(特に、大規模な私学や総合学科でこの傾向が強い。)

- ・既に先行実施している学校からは中学校の取り組みに地域差があるとの指摘もあった。

第2回 平成14年10月4日(金)14:00~ 宇都宮高校 小会議室

参加者数 15名

司会 小山南高校 小菅 徹 先生

以下のテーマについて意見交換をした。

- ・教科書の内容について

どのような観点から教科書を採用したかでは、「実習の内容が具体的で、分かり易いものにした」という意見や「実習に必要なソフトの操作法が良くまとまっている」等が目立った。一方、「シンプルなほうが生徒が取り付きやすい」、「ページごとにまとまっているほうが扱いやすい」、「実習については学校独自の内容があるのであまり一つの事例に特化していないほうが良い」などの理由で選定した学校もあった。

- ・学習評価について

現在、情報に関する科目を実施している学校の取り組みや評価の仕方について情報交換をした。ただし、実施科目がリテラシー中心の内容であるため、普通教科「情報」での評価の仕方については今後さらに検討していくことが必要である。

- ・設備等の問題について

鹿沼商工高と足利高校での校内LANの導入時の苦労や問題点などを話していただいた。決まった予算のなかで、使用については各校が考えるという方針であるため、「既存環境との整合性」「LANに組み込む特別教室の選定」「オーディオ機器をどこまで導入するか」等、事前に検討すべき項目は多い。

インターネットサーバに関しては、IP アドレスの衝突（既存のスタティックなものや新たな PC への自動割り当ての分）やそれに伴うメールサーバの不具合等にも気を付けなければならない。これらを係だけで行うのは負担が多く、納入時に、きちんと業者に動作する状態にしてもらう必要がある。また、導入に際しては委員会を設置したり、既に導入した学校への視察などを行った方がよい。

- ・学校内での「情報科」の位置づけについて（他教科、総合学習との連携など）

総合的な学習の時間との連携を考えている学校などもある。

以下の項目については今回時間の都合上、次回以降に検討することにした。

- ・中学「技術・家庭」との連携について
（特にスキルの差をどうやってカバーしながら授業を進行するのかについて）
- ・教員配置について

第3回 平成14年11月7日（木）14：00～ 宇都宮高校 大会議室

参加者数 35名

司会 宇都宮高校 敦見 和徳 先生

前回に引き続き、設備や教員配置等について意見交換した。設備に関しては、今年度中に導入する学校の現在の状況を話してもらった。やはり、導入済みの学校の視察が大変参考になっているとのことである。教員配置に関しては、「情報科の教員が配属されていない学校もあり、どのように対応するのか」「情報以外の専門教科との持ち時間の割合」などの点で不安を抱えている。

最後に、今後の研究会のあり方についても話し合いを持った。主な意見として以下のようなものが挙がった。

- ・平成15年度から実施する学校の状況や新たに出てくるであろう問題点、評価のことなどについて7月以前に研究会を持ち、情報交換をしたい。
- ・今年度程度の回数を実施してもらいたい。
- ・理科部会などで実施している教科指導で参考になる施設、設備の見学などを行えないか。